

研究名：

## 令和6年能登半島地震における消化性潰瘍の頻度と予後に関する研究

### 1. 研究の目的

地震のストレスによって、胃潰瘍十二指腸潰瘍が生じることが報告されています。研究対象者は「内視鏡検査で受けられた患者さん」「消化性潰瘍を認めた患者さん」です。

### 2. 研究の方法

- ① 研究対象：研究実施機関にて 2023年1月～2024年12月までに、胃潰瘍・十二指腸潰瘍と診断された方
- ② 研究期間：倫理審査委員会承認後～2026年12月
- ③ 研究方法：通常保険診療で行われた診療録の情報を抽出して検討します。
- ④ 情報の利用又は提供を開始する予定日：倫理審査委員会承認日以降

### 3. 研究に用いる情報の種類

- ① 研究対象者背景：年齢、性別、発災時居住地、NSAID使用の有無、抗血栓薬使用の有無、既往歴、潰瘍の既往、H.pylori感染状況、内視鏡検査に至った症状
- ② 内視鏡検査所見：内視鏡検査日、ヘモグロビン値、胃潰瘍の有無、胃潰瘍の数(多発/単発)、十二指腸潰瘍(多発/単発)、潰瘍存在部位、潰瘍出血の有無、止血治療の有無、再出血の有無、生命予後
- ③ 投与薬剤

### 4. 個人情報の取扱い

研究に利用する情報を院外に提出する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。当院の研究責任者は、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける情報も含めて、責任をもって適切に管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表する予定ですが、その際も個人を直ちに判別できるような情報が公表されることは一切ありません。

## 5. 研究実施機関

この研究は、多機関との共同研究で行われ、各機関の情報を代表施設の金沢医療センターで収集します。

### 石川県内医療機関

金沢医療センター、金沢大学附属病院、珠洲総合病院、宇出津総合病院、市立輪島病院、穴水総合病院、能登総合病院、恵寿総合病院、羽咋病院、河北中央病院、金沢医科大学病院、石川県立中央病院、済生会金沢病院、金沢市立病院、金沢赤十字病院、KKR 金沢病院、JCHO 金沢病院、浅ノ川病院、公立石川松任中央病院、小松市民病院、小松ソフィア病院、加賀市民病院

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2024年12月31日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

○照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立病院機構金沢医療センター 消化器内科 加賀谷尚史

住所：〒921-8034 石川県金沢市下石引町 1-1

電話：076-262-4161（内線：内科外来 13時～16時）

○当院の研究責任者（研究代表者）：

国立病院機構金沢医療センター 消化器内科 加賀谷尚史